旧渡瀬小学校利活用に係るサウンディング型市場調査 結果概要

神川町では、統廃合により閉校となった旧渡瀬小学校について、民間利活用等の可能性を把握するため、市場性の有無や自由な発想に基づく幅広い活用アイデア等を調査するサウンディング型市場調査を実施しましたので、その結果概要を公表します。

１　調査対象施設

旧渡瀬小学校

２　参加者

６者

３　結果の概要

参加事業者　A

事業概要	団体向けの宿泊と地域のコミュニティエリアを複合した施設
事業スキーム	施設は一括して活用 公共施設等運営方式を取り入れて、運営リスクを分散し、利用者や地域住民へのサービス向上を図る
期待される効果	交流人口の増加、神川町の知名度向上に繋げられる 地域住民参加型のイベント開催で「地域力」向上も期待できる

参加事業者　B

事業概要	ＩＴ拠点としての活用 地域住民の交流拠点の創出 持続可能な地域プラットフォームの構築
事業スキーム	校舎の一部を活用 イベント時は必要に応じて校舎全体、グラウンド、体育館を使用
期待される効果	デジタルデバイドの解消 地域イベントの開催 地域雇用の創出 行政の課題解決

参加事業者　C

事業概要	教室を一部改修し、スポーツ練習スペースとして活用
事業スキーム	校舎の一部を活用 イベント時は空き教室や体育館も活用
期待される効果	スポーツの練習やイベントを通じて、若年層・スポーツ層が神川町を訪れるきっかけが生まれる

参加事業者　D

事業概要	施設の屋根やグラウンドの一部に太陽光パネルを設置するなどし、廃校を地域のエネルギー拠点として利活用する
事業スキーム	グラウンドや学校施設の一部を活用 教室の一部は地域の交流スペースとして開放 公共事業として国からの補助金を活用 官民連携事業として、整備及び運営管理を民間企業が行う
期待される効果	町の公共施設に係る電気代の削減 防災機能の強化

参加事業者　E

事業概要	動物保護、地域住民と動物のふれあいの場としての活用
事業スキーム	校舎の一部を活用
期待される効果	動物保護を通じた社会貢献 地域住民の憩いの場の創出

参加事業者　F

事業概要	障害福祉サービス事業 ※敷地管理・校舎等を活用する他の企業・団体への役務の提供等含む
事業スキーム	校舎の一部を活用（他の企業・団体との連携）
期待される効果	活用を検討している企業へのサポート